

月報

## 神戸市感染症情報

〈報告〉2014(平成26)年感染症患者発生状況  
神戸市における感染症の動向

18巻2号(No.196)

2015年2月発行

神戸市感染症情報対策委員会

事務局 神戸市保健所予防衛生課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

Tel:078(322)6789 Fax:078(322)6763

## 〈報告〉2014(平成26)年感染症患者発生状況

感染症発生動向調査事業は、感染症の発生状況に関する一元的な情報収集、分析、提供を目的として「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき実施している。

## 全数把握対象疾患

一類感染症:届出なし。

二類感染症:結核 414 例の届出があった。結核新規登録患者数については現段階では未確定。

三類感染症:腸管出血性大腸菌感染症 19 例、細菌性赤痢 2 例、腸チフス 1 例の届出があった。腸管出血性大腸菌感染症 19 例のうち 16 例が医療機関受診(うち 1 例は HUS を発症)、3 例が接触者検便や職場の定期検便で探知された。細菌性赤痢及び腸チフスはともに海外渡航例で渡航先は全てインドネシアであった。

四類感染症:A型肝炎 11 例、E型肝炎 2 例、デング熱 5 例、マラリア 2 例、日本紅斑熱 2 例、レジオネラ症 16 例の届出があった。春に全国的な A 型肝炎の流行があり、市内でも 3~4 月にかけて患者が多く発生した。8~9 月には東京都内でデング熱の国内感染例が多く発生したが、市内の 5 例は全て海外渡航例であった(渡航国:マレーシア、フィリピン、タイ)。

五類感染症:後天性免疫不全症候群 15 例、アメーバ赤痢 11 例、梅毒 14 例、ウイルス肝炎(病型 B 型)3 例、急性脳炎(病原体不明)1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5 例、ジアルジア症 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、侵襲性髄膜炎菌感染症 1 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 5 例、侵襲性肺炎球菌感染症 28 例、水痘(入院例)2 例、カルバペネム耐性

腸内細菌科細菌感染症 4 例、麻しん 6 例、風しん 4 例の届出があった。8~9 月にかけて市内の一部の地域で麻しんの流行が観察され、全ての麻しん患者はこの流行で発生した患者である。

## 定点把握対象疾患

## 1. インフルエンザ定点(48カ所)

2014(平成26)年には 13,628 例のインフルエンザの届出があった。2013-2014 シーズンのインフルエンザは、前年 2013 年第 51 週(12/16~22)に流行入りの目安とされる定点あたり 1.0 人を超えたが、それ以降の年末年始の期間は学校等の休業等から患者数は横ばいであった。年を明けて新学期が始まった第 2 週以降、急激にインフルエンザ流行の拡大が観察され、翌第 3 週(1/13~1/19)には注意報水準の定点あたり 10 人を超えて 11.45 人となり、さらに第 5 週(1/27~2/2)にはピークの 27.11 人となったが、警報水準の 30 人を超えることはなかった。その後は緩やかな減少となり、第 14 週(4/1~7)に終息水準の定点あたり 10 人を切って 5.09 人となり、第 19 週(5/6~5/12)に定点あたり 1.0 人を下回り流行期が終了した。流行するウイルスは、例年流行開始時には A 型ウイルスが、次いで B 型ウイルスの流行が観察されるが、今冬は流行開始時から A 型ウイルス(A 香港型と AH1pdm09 型)と B 型の 3 種類のウイルスが同時に流行する珍しい年となった。そのために、連続して 2 度インフルエンザに罹患する例も報告された。

## 2. 小児科定点(31カ所)

11 対象疾患として、RS ウイルス感染症 646 例、咽頭結膜熱 841 例、A 群溶血性レンサ球

菌咽頭炎 1,472 例、感染性胃腸炎 11,019 例、水痘 1,505 例、手足口病 284 例、伝染性紅斑 243 例、突発性発疹 723 例、百日咳 9 例、ヘルパンギーナ 1,388 例、流行性耳下腺炎 421 例の届出があった。

3. 眼科定点(10カ所)

2 対象疾患として、急性出血性結膜炎 4 例、流行性角結膜炎 174 例の届出があった。

4. 性感染症定点(12カ所)

4 対象疾患として、性器クラミジア感染症 243 例、性器ヘルペスウイルス感染症 85 例、尖圭コンジローマ 48 例、淋菌感染症 93 例の届出があった。

5. 基幹定点(3カ所)

細菌性髄膜炎 11、無菌性髄膜炎 16 例、マイコプラズマ肺炎 1 例、感染性胃腸炎(ロタウイルス)3 例、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 85 例、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 47 例、薬剤耐性緑膿菌感染症 2 例、薬剤耐性アシネトバクター感染症 2 例の届出があった。

6. 疑似症定点(69カ所)

届出対象の①38℃以上の発熱及び呼吸器症状(明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く)及び②発熱及び発しん又は水疱(ただし二類～五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く)の届出はなかった。 <事務局>

定点機関からの患者報告数

インフルエンザ・小児科・眼科定点 (週報告)

	26年	25年	24年
インフルエンザ	13,628	9,692	15,441
RSウイルス感染症	646	643	638
咽頭結膜熱	841	547	488
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,472	1,076	1,431
感染性胃腸炎	11,019	13,026	14,978
水痘	1,505	1,589	1,756
手足口病	284	2,254	122
伝染性紅斑	243	55	200
突発性発しん	723	714	773
百日咳	9	2	7
ヘルパンギーナ	1,388	797	1,219
流行性耳下腺炎	421	199	331
合計	32,179	30,594	37,384
急性出血性結膜炎	4	12	12
流行性角結膜炎	174	141	103
合計	178	153	115

基幹定点 (週報告)

	26年	25年	24年
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	11	5	0
無菌性髄膜炎	16	28	6
マイコプラズマ肺炎	1	5	10
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0	
合計	31	38	16

基幹定点 (月報告)

	26年	25年	24年
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	85	84	124
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	47	100	29
薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2	0	0
合計	134	184	153

性感染症(STD)定点 (月報告)

	26年	25年	24年
性器クラミジア感染症	243	261	238
性器ヘルペスウイルス感染症	85	98	89
尖圭コンジローマ	48	49	26
淋菌感染症	93	104	106
合計	469	512	459

全数把握対象感染症発生状況

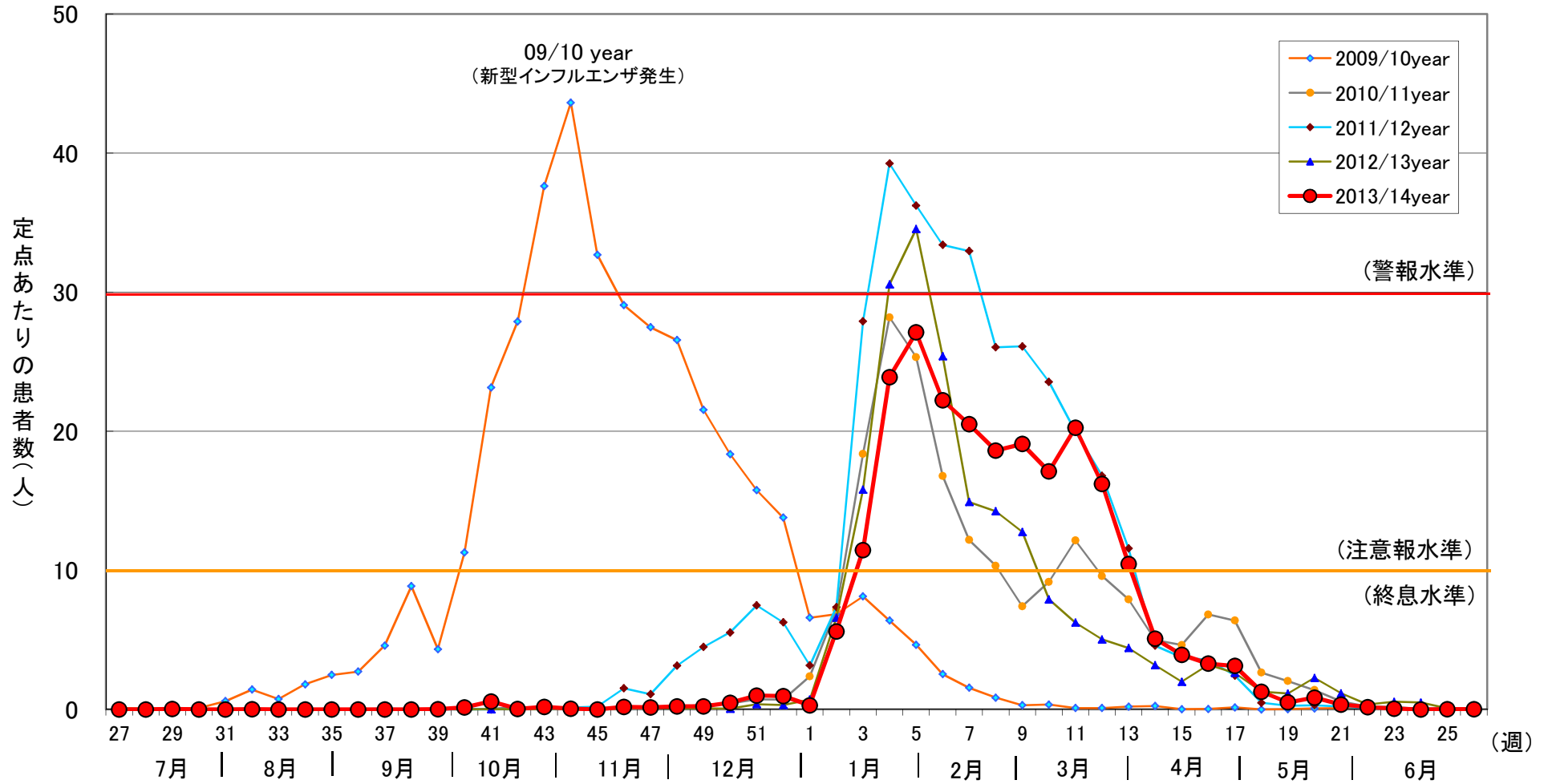
類型	感染症名	26年												累積数	25年	24年	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
一類感染症	エボラ出血熱													0	0	-	
	クリミア・コンゴ出血熱													0	0	-	
	痘そう													0	0	-	
	南米出血熱													0	0	-	
	ペスト													0	0	-	
	マールブルグ病													0	0	-	
二類感染症	ラッサ熱													0	0	-	
	急性灰白髄炎													0	0	-	
	結核 ※1	50	18	31	32	53	35	43	39	25	36	30	22	414	369	376	
	ジフテリア													0	0	-	
	重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに 限る）													0	0	-	
三類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）													0	0	-	
	コレラ													0	0	-	
	細菌性赤痢			2										2	1	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	1					2	5	4	1	2		4	19	40	18	
	腸チフス										1			1	1	1	
	バラチフス													0	0	-	
四類感染症	小計	1	0	2	0	0	2	5	4	1	3	0	4	22	42	20	
	E型肝炎							1					1	2	0	2	
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）													0	0	-	
	A型肝炎		1	2	7						1			11	3	2	
	エキノコックス症													0	1	-	
	黄熱													0	0	-	
	オウム病													0	0	-	
	オムスク出血熱													0	0	-	
	回帰熱													0	0	-	
	キャサスル森林病													0	0	-	
	Q熱													0	0	-	
	狂犬病													0	0	-	
	コクシジオイデス症													0	0	-	
	サル痘													0	0	-	
	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）													0	0	-	
	腎症候性出血熱													0	0	-	
	西部ウマ脳炎													0	0	-	
	ダニ媒介脳炎													0	0	-	
	炭疽													0	0	-	
	チクングニア熱													0	1	-	
	つつが虫病													0	1	-	
	デング熱			2	1				1	1				5	1	6	
	東部ウマ脳炎													0	0	-	
	鳥インフルエンザ（H5N1, H7N9を除く）													0	0	-	
	ニバウイルス感染症													0	0	-	
	日本紅斑熱			1						1				2	2	-	
	日本脳炎													0	1	-	
	ハンタウイルス肺症候群													0	0	-	
	Bウイルス病													0	0	-	
	鼻疽													0	0	-	
	ブルセラ症													0	0	-	
	ベネズエラウマ脳炎													0	0	-	
	ヘンドラウイルス感染症													0	0	-	
	発しんチフス													0	0	-	
	ボツリヌス症													0	0	-	
	マラリア		1			1								2	0	2	
	野兔病													0	0	-	
	ライム病													0	2	-	
	リッサウイルス感染症													0	0	-	
	リフトバレー熱													0	0	-	
	類鼻疽													0	0	-	
	レジオネラ症		2	2	3	1	1		2	2	1	1		16	13	20	
	レプトスピラ症													0	0	-	
	ロッキー山紅斑熱													0	0	-	
	小計		3	3	8	10	1	0	3	3	3	2	0	2	38	25	32
	五類全数把握感染症	アメーバ赤痢			1	2	2		1		2	1		2	11	11	10
		ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	1			1	1								3	4	4
急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）										1				1	0	8	
クリプトスポリジウム症														0	0	-	
クロイツフェルト・ヤコブ病													1	1	4	1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1				1	1	1		1	5	7	3	
後天性免疫不全症候群		1	2		2	2	2	1	1	2	1	1		15	31	22	
ジアルジア症										1				1	1	2	
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1		1	1					1		1		5	6	...	
侵襲性髄膜炎菌感染症					1									1	0	1	
侵襲性肺炎球菌感染症		5		1	3	7	3			1	3	5		28	23	...	
先天性風しん症候群														0	0	2	
梅毒				2				1	3	3	1	1	2	1	14	17	8
破傷風														0	0	1	
水痘（入院例）											1		1	2	...	...	
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														0	0	-	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症														0	0	3	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1		1	2	4	...	...	
薬剤耐性アシネトバクター感染症														0	...	...	
風しん		1			1				1		1			4	317	65	
麻しん								4	2				6	4	11		
小計		9	2	5	12	12	6	6	10	12	6	8	13	101	426	140	
※2	新型インフルエンザ													0	0	-	
再興型インフルエンザ														0	0	-	
合計（結核を除く全数把握感染症）		13	5	15	22	13	8	14	17	16	11	8	19	161	494	192	

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正（施行日：平成25年4月1日）に伴う分類表示  
 診断年月日での集計結果なので、過去の報告結果とは異なる部分があります

※1「結核」については、H25年までは新規登録患者数、H26年は届出数（潜在性結核感染症を含む）

※2 新型インフルエンザ等感染症について、平成21年に発生した新型インフルエンザは平成23年4月か

# 定点あたりのインフルエンザ患者報告数



病原菌検出状況報告（病院検査室定点）2015

便（細菌）

菌種名	1月	合計
<i>Campylobacter jejuni</i>	37	37
<i>Campylobacter jejuni/coli</i>	3	3
<i>Escherichia coli</i> , その他	2	2
<i>Staphylococcus aureus</i>	12	12
陽性数	54	54
検査件数	481	481

便（ウイルス）

ウイルス名	1月	合計
norovirus 群不明	18	18
rotavirus	3	3
陽性数	21	30
検査件数	153	153

便（原虫）

原虫名	1月	合計
検査件数	4	4

穿刺液（胸水、腹水、関節液など）

菌種名	1月	合計
Anaerobes	4	4
<i>Escherichia coli</i>	10	10
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1	1
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2	2
<i>Staphylococcus aureus</i>	14	14
<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	1	1
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	2	2
陽性数	34	34
検査件数	261	261

髄液

菌種名	1月	合計
<i>Escherichia coli</i>	4	4
陽性数	4	4
検査件数	75	75

咽頭および鼻咽頭からの材料

菌種名	1月	合計
<i>Haemophilus influenzae</i>	79	79
<i>Streptococcus A</i>	11	11
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	33	33
陽性数	123	127
検査件数	1206	1206

尿

菌種名	1月	合計
<i>Acinetobacter</i> spp.	2	2
<i>Candida albicans</i>	38	38
<i>Enterobacter</i> spp.	18	18
<i>Enterococcus</i> spp.	138	138
<i>Escherichia coli</i>	247	247
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	36	36
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	38	38
<i>Staphylococcus aureus</i>	29	29
<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	31	31
陽性数	577	577
検査件数	1156	1156

血液

菌種名	1月	合計
Anaerobes	13	13
<i>Escherichia coli</i>	62	62
<i>Haemophilus influenzae</i>	2	2
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	9	9
<i>Staphylococcus aureus</i>	47	47
<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	81	81
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	5	5
陽性数	219	219
検査件数	3070	3070

喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

菌種名	1月	合計
<i>Haemophilus influenzae</i>	66	66
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	42	42
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	96	96
<i>Staphylococcus aureus</i>	157	157
<i>Streptococcus A</i>	3	3
<i>Streptococcus B</i>	13	13
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	44	44
陽性数	421	421
検査件数	1602	1602

尿道または子宮頸管擦過（分泌物）

菌種名	1月	合計
<i>Candida albicans</i>	20	20
<i>Chlamydia trachomatis</i>	1	1
<i>Streptococcus B</i>	17	17
陽性数	38	38
検査件数	214	214

2015/02/24現在

検出された *S. aureus* の内訳

	菌種名	1月	合計
便	MRSA	4	4
	MSSA	8	8
	メチシリン未検査	0	0
	合計	12	12
穿刺	<i>S. aureus</i>	12	12
	MRSA	4	4
	MSSA	10	10
	メチシリン未検査	0	0
	合計	14	14
髄液	<i>S. aureus</i>	14	14
	MRSA	0	0
	MSSA	0	0
	メチシリン未検査	0	0
	合計	0	0
尿	<i>S. aureus</i>	0	0
	MRSA	17	17
	MSSA	12	12
	メチシリン未検査	0	0
	合計	29	29
血液	<i>S. aureus</i>	29	29
	MRSA	19	19
	MSSA	28	28
	メチシリン未検査	0	0
	合計	47	47
喀痰	<i>S. aureus</i>	47	47
	MRSA	100	100
	MSSA	57	57
	メチシリン未検査	0	0
	合計	157	157
合計	<i>S. aureus</i>	157	157
	MRSA	144	144
	MSSA	115	115
	メチシリン未検査	0	0
	合計	259	259

病原菌検出状況報告（検診機関）2015

便（細菌）

菌種名	1月	合計
<i>Salmonella O7</i>	1	1
<i>Salmonella O8</i>	1	1
陽性数	2	2
検査件数	6151	6151

便（ウイルス）

ウイルス名	1月	合計
検査件数	112	112

病原体検出状況報告

2015/2/20現在

ウイルス分離・検出状況(定点)

ウイルス名	1月	合計
コクサッキー A群10型	1	1
コクサッキー A群16型	1	1
A型インフルエンザ H3型	5	5
B型インフルエンザ(山形系統)	1	1
単純ヘルペス 1型	1	1
A型肝炎ウイルス	1	1
陽性検体数	10	10
検体数	18	18

下痢原因菌検出状況

菌種名	検査室	1月	小計	合計
<i>Campylobacter jejuni</i>	環保研	1	1	1
	中央市病		0	
<i>Clostridium perfringens</i>	環保研	5	5	5
	中央市病		0	
<i>Salmonella</i> O4	環保研	1	1	1
	中央市病		0	
<i>Salmonella</i> O8	環保研		0	1
	中央市病	1	1	
<i>Staphylococcus aureus</i>	環保研	2	2	2
	中央市病		0	
検出菌総数	環保研	9	9	10
	中央市病	1	1	
検査検体数	環保研	41	41	85
	中央市病	44	44	

環保研：神戸市環境保健研究所(食中毒関連検査等)  
 中央市病：神戸市中央市民病院(外来患者検査等)

A群溶連菌(定点)

T型別	1月	合計
	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	6	0
	8	0
	9	0
	11	0
	12	0
	13	0
	18	0
	22	0
	23	0
	25	0
	28	0
	5/27/44	0
	14/49	0
	B3264	0
	imp.19	0
	UT	0
陽性数	0	0
<i>H.influenzae</i>		0
検査検体数	0	0

STD定点

	1月	合計
淋菌	耐性菌(PCG)	0
	耐性菌(LVFX)	0
	低感受性菌(CFIX)	0
	陽性数	0
検査検体数	2	2
<i>Chlamydia trachomatis</i>	陽性数	1
	検査検体数	3
<i>U.urealyticum</i>	陽性数	0
	検査検体数	3

百日咳(定点)

	1月	合計
陽性数(培養法)		0
陽性数(LAMP法)		0
検査検体数	0	0

# 神戸市感染症発生動向調査月報

2015年1月受診の患者数報告

総報告定点数 12ヶ所

神戸市感染症情報センター

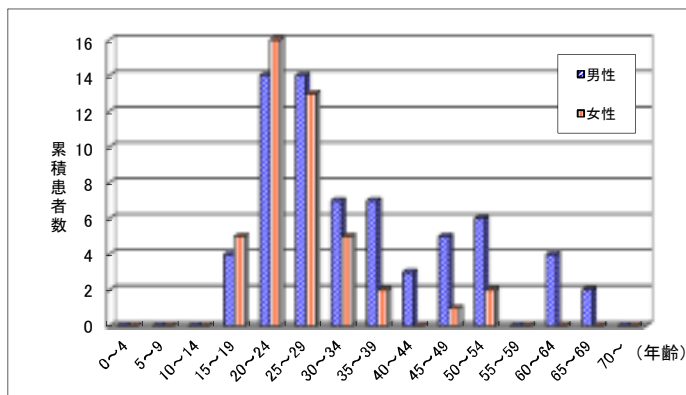
総設置定点数 12ヶ所

STD定点情報（1月患者）		患者年齢層														合計	
病名	性	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69		70~
性器クラミジア感染症	男				1	1	2		1						1		6
	女					4	5	2	1								12
性器ヘルペスウイルス感染症	男							1						1	1		3
	女					1	1		1								3
尖圭コンジローマ	男					1		1		1				2		1	6
	女					1				1	2						4
淋菌感染症	男				1		2				1						4
	女					1											1

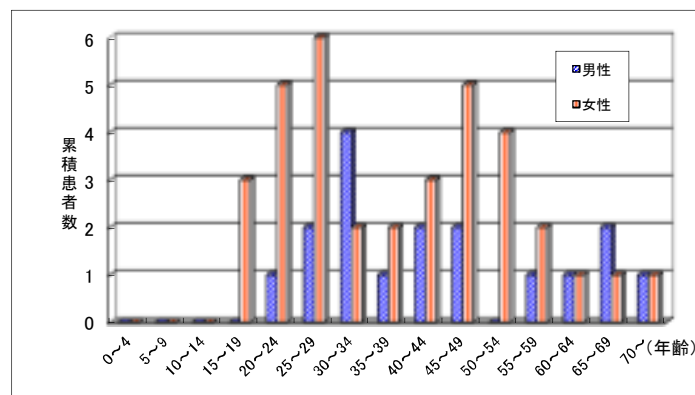
<その他の感染症情報>  
\*今月の情報はありません

直近6か月間の累積患者報告数（2014年8月～2015年1月）

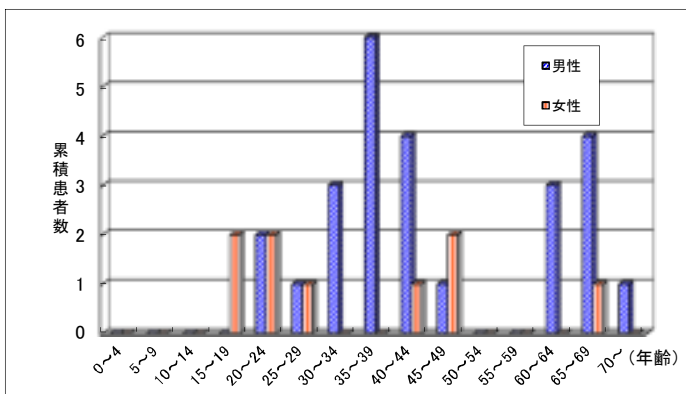
1. 性器クラミジア感染症



2. 性器ヘルペスウイルス感染症



3. 尖圭コンジローマ



4. 淋菌感染症

